

社会福祉法人やまなみ会 令和5年度 事業計画

スローガン

「支えあい、地域の中で ともに生きる」

基本理念

ひとり一人の個性を尊重し、社会参加に向けて、ともに育ち合い、それぞれの夢や思いを実現する場を目指します。

実施運営について

1. 就労継続支援 B 型事業所 やすらぎの家

サービス提供時間 9:00～16:00

管理者	1名	常勤・兼自立訓練
サービス管理責任者	1名	常勤・兼自立訓練
職業指導員	1名	常勤
目標工賃達成指導員	3名	非常勤
生活支援員	5名	非常勤

(施設外就労、施設内作業、調理加工、畑作業など)

定員 20名 (5月以降予定)

2. 自立訓練(生活訓練)事業所 やまなみハウス

サービス提供時間 9:00～15:00

管理者	1名	常勤・兼就労継続支援 B 型
サービス管理責任者	1名	常勤・兼就労継続支援 B 型
生活支援員	2名	常勤・非常勤

定員 10名 (5月以降予定)

3. 日中一時支援事業

やすらぎの家管理者	1名	常勤 兼自立訓練
生活支援員	2名	非常勤 2名 兼事務

4. やまなみ会相談支援事業所

管理者	1名	常勤 兼施設長、相談支援専門員
相談支援専門員	3名	常勤 2名 非常勤 1名

今後の運営について

就労継続支援 B 型事業について

施設外就労の維持

施設外就労の協力企業の継続、

(現在 水、木→動研(株) 月～金→OSG(株))

再就職者への支援

就業・生活支援センター等との連携

就職者への支援

工賃向上に向けた取り組み

自主製品の充実 (調理)

お弁当、五平餅等の販売拡充

惣菜販売開始、

農福連携 (有機栽培など)

お弁当、総菜の食材作り

柿の乾燥の自主製品化 (会社とのコラボ)

しんしろ茶の保存、販売経路の拡充

SDGS (持続可能な開発目標) として

リメイク品の作成など

自主製品の品質の向上、分析

地域との連携できる取り組みの模索

自立訓練事業やまなみハウス

プログラムの充実 社会生活力向上、

精神科病院、在宅からの利用者に対するきめ細かい支援

在宅者訪問支援の継続

やまなみ会相談支援事業所

相談支援体制の充実

精神科病院との連携強化

地域移行、地域定着支援の増加

緊急体制の整備

全体的な取り組み

定款の変更認可申請(基本財産の減少)

上記承認後旧事務研修棟・相談棟の解体撤去

屋根付き作業場増築の検討

理事及び監事の選任(令和 5 年 6 月定時評議員会終了時任期満了)

B C P（事業継続計画）等、感染症の発生防止対策及びびまん延防止等に関する取り組み

災害時に対する避難訓練（地域との取り組み）

虐待防止対策の徹底

I C T（情報通信技術）の対応

ホームページのリニューアル

職員研修の充実（新城福祉会合同研修の実施の継続など）

利用者への研修、レクリエーションの充実

ピアサポーター増員支援

ピアスタッフ起用後の継続支援、研修等

地域移行者等の居住の場の検討

『令和3年度事業報告には、「社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。』

令和3年6月 社会福祉法人やまなみ会』